

市の借入金

小・中学校の校舎のように将来まで役立つ施設の建設費などを、次世代の人々にも負担していただくという考えに基づき、借り入れるものです。

借入現在高 666億2,155万円

一般会計 348億 947万円

特別会計 318億1,208万円

市民1人当たりの借入金 1,863,592円

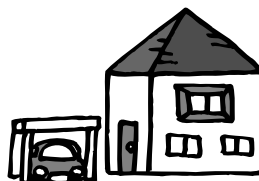
うち交付税で補てんされるのは370億円(56%)で、実質の市民1人当たりの借入金は826,032円となります。

※介護保険事業特別会計分を除く

市民の負担状況

1世帯当たりに使われる市のお金
1,942,655円

市民1人に使われる市のお金
724,970円



1世帯当たりが負担する税金(市税)
301,611円



市民1人が負担する税金(市税)
112,557円

※平成19年3月31日現在の世帯数と人口を基にしています

区分	予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険事業	34億2,652万円	28億4,624万円	83.1%	31億1,626万円	90.9%
老人保健事業	41億2,000万円	34億9,116万円	84.7%	38億 453万円	92.3%
介護保険事業	28億8,335万円	23億4,621万円	81.4%	23億3,983万円	81.1%
市営バス運行事業	1億1,143万円	4,061万円	36.4%	3,694万円	33.2%
簡易水道事業	15億8,610万円	6億1,630万円	38.9%	8億2,678万円	52.1%
下水道事業	40億2,047万円	8億3,281万円	20.7%	24億4,199万円	60.7%
商品券事業	5,635万円	2,507万円	44.5%	1,306万円	23.2%
土地取得事業	3億9,597万円	3,444万円	8.7%	3,310万円	8.4%

特別会計とは、特定の事業を行う場合や特定の歳入を特定の歳出に充てる場合に、

特別会計があります。一般会計とは別に経理する必要がある会計です。八つの

特別会計 予算の執行状況

■上水道事業会計

収益的収支(事業の運営に伴う収入と、それに要した経費の収支)

収入予算額	収入済額	収入率	支出予算額	支出済額	執行率
4億4,283万円	4億4,605万円	100.7%	4億 30万円	3億7,151万円	92.8%

資本的収支(施設整備に要した経費と、賄った財源の収入)

収入予算額	収入済額	収入率	支出予算額	支出済額	執行率
5億7,648万円	5億8,800万円	102.0%	12億1,304万円	10億2,511万円	84.5%

南丹市の水道事業では、独立採算を原則とした会計(企業会計)を設けています。この会計では水道料金を主な財源として事業を運営しています。

企業会計 予算の執行状況